

# 令和5年度学校評価に関するアンケートの結果と改善策について

## 1 確認事項

### (1) 改善策を検討するに当たっての基本的な考え方について

- ・回答者数が少ない項目は少数の意見でも平均値に大きく影響してしまうため、平均値だけで改善策の検討が必要か判断するのは難しい。そのため、4段階評価を行っている自己評価（職員アンケート）と保護者アンケートに関しては、各項目の平均値に加え、達成度も確認することとする。

〔参考〕「達成度」の考え方

ここでいう「達成度」とは、各項目において、高い評価（4と3）をした人の割合のことである。つまり、達成度が高い場合には、平均値に関係なく、高い評価（4と3）をした人が多く、低い評価（2と1）をした人が少ないことを意味する。達成度が低い場合は、その逆を意味する。

- ・自由記述に書かれた内容は、少数の意見であっても学校運営を見直す上で貴重な資料となるため、改善策の検討が必要かどうかは記述内容を確認して判断する。

### (2) 学校全体で改善策を検討する項目の選定方法について

以下の条件に該当する項目について、改善策を検討することとする

#### 【条件1】平均値が低かった項目

- ・自己評価（職員アンケート）と保護者アンケートにおいて、全体集計の平均値が4段階評価の中央値（2.5ポイント）を下回った項目。
- ・児童生徒アンケートにおいて、全体集計の平均値が3段階評価の中央値（2.0ポイント）を下回った項目。

#### 【条件2】平均値が顕著に下降した項目

- ・全体集計において、各項目の平均値が昨年度より0.5ポイント以上下降した項目は、達成度や自由記述の内容を確認の上、改善策の検討が必要か確認する。

#### 【条件3】達成度が低かった項目

- ・自己評価（職員アンケート）及び保護者アンケートにおいて、全体集計の達成度が80%以下の項目。

#### 【条件4】その他（自由記述の内容など）

- ・自由記述で指摘があった内容に関する項目で、改善策の検討が必要であると判断した項目。
- ・所属部署ごとの集計において、平均値や達成度の数値から改善が必要であると判断した項目。

### (3) 学校全体で改善策を検討する項目以外の項目について

#### ◆評価が高かった項目

学校全体で改善策の検討はしないが、評価結果に甘んじることなく、今後もこれまでの取組を継続しながら、更に充実・発展させることとする。

#### ◆一部の評価が低かった項目

所属部署ごとの平均値や達成度、自由記述の内容などを見ると、学校全体で改善策を検討することにはならなくても、改善に向けた取組が望まれる項目が浮かび上がってくる。その場合は、資料を参考にしながら、所属部署ごとに改善策を検討し、実践することとする。

## 2 アンケートの集約結果について

### (1) 職員アンケートについて <参考：資料1>

【概況】回収数は53、回収率は100%。

- ・全体集計において、平均値の最大値は3.6ポイント（昨年度も同ポイント）、最小値は3.1ポイント（昨年度は3.0ポイント）であった。
- ・全体集計において、達成度の最大値は100.0%、最小値は84.9%であった。

【条件1】

- ・全体集計において、4段階評価の中央値（2.5ポイント）を下回った項目はなかった。

【条件2】

- ・全体集計において、各項目の平均値が昨年度より0.5ポイント以上下降した項目はなかった。

【条件3】

- ・全体集計において、達成度が80%以下の項目はなかった。

【条件4】

- ・多くの項目に関して自由記述があった。 ※資料3参照
- ・所属部署ごとの集計において、達成度が80%以下の項目があった。
  - ※中学部：NO.7、NO.19の2項目。
  - ※西大村分教室：NO.19、NO.21の2項目。
  - ※事務部：NO.24、NO.25の2項目。

### (2) 保護者アンケートについて <参考：資料1>

【概況】回収数は32、回収率は86%。

- ・全体集計において、評価値の最大値は3.9ポイント（昨年度は4.0ポイント）、最小値は3.3ポイント（昨年度は3.2ポイント）であった。
- ・全体集計において、達成度の最大値は100.0%、最小値は66.7%であった。

【条件1】

- ・全体集計において、4段階評価の中央値（2.5ポイント）を下回った項目はなかった。

【条件2】

- ・全体集計において、平均値が昨年度より0.5ポイント以上下降した項目が2項目あった。

【条件3】

- ・全体集計において、達成度が80%以下の項目が2項目あった。

【条件4】

- ・自由記述が複数あった。 ※資料3参照
- ・所属部署ごとの集計において、平均値が中央値（2.5ポイント）を下回った項目はなかった。
- ・所属部署ごとの集計において、達成度が80%以下の項目が2項目あった。
  - ※中学部保護者（寄宿舍）：NO.27(23)、NO.30(26)

### (3) 児童生徒アンケートについて <参考：資料2>

【概況】回収数は43、回収率は84%。

- ・全体集計において、評価値の最大値は3.0ポイント（昨年度も同ポイント）、最小値は2.2ポイント（昨年度は2.1ポイント）であった。

【条件1】

・全体集計において、3段階評価の中央値（2.0ポイント）を下回った項目はなかった。

【条件2】

・全体集計において、各項目の平均値が昨年度より0.5ポイント以上下降した項目はなかった。

【条件3】

・達成度を算出していないため、該当項目の選定はできない。

【条件4】

・自由記述はなかった。

・分教室の集計において、平均値が中央値（2.0ポイント）を下回った項目があった。

※西大村分教室小学部：NO. 1、NO. 3、NO. 4、NO. 5、NO. 6、NO. 8、NO. 9、NO. 12、NO. 14、NO. 15、NO. 16の11項目。

※西大村分教室中学部：NO. 14の3項目。

### 3 具体的な改善策について

No.	具体的評価内容
	改善策
1	<p>学校の教育目標及び教育方針は、児童生徒の実態に合っており適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部会や教科等部会、教育課程委員会を十分に機能させ、学部を超えて情報共有や共通理解を図る。各部の取組状況や目指す姿、学校として統一した見解を確認し合う。</li> <li>・校内研究とリンクさせて学習指導、生徒指導について意見交換する。</li> </ul>
7	<p>学校は、他の専門機関（医療、福祉、教育）と連携を図りながら、教育活動を実践している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通院後の医療からの情報を必ず保護者から聞き取り、必要に応じて保護者同席のもとでもいいので、学校での様子を主治医に直接伝える機会を設定する。</li> <li>・連携の方法等については、担任だけでなく学部全体でも検討し、SCやSSWに相談し、アドバイスを受けたことを学部全体で共有する。</li> </ul>
8	<p>進路に関する情報や資料の提供がなされ、児童生徒の将来の進路について、意識を高める指導が行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路のしおり（生徒版）に、中学部の卒業後の進路を考えさせる課題を入れ込み、生徒がより自分の進路について深められる機会をもたせるようする。また、進路選択として進学や福祉就労など多様なニーズに応じられるようなワークシートに工夫していく。</li> </ul>
19	<p>学校は、児童生徒の学習目標に沿った教材・教具が整備されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、年3～4回設定している教科等部会を活用し、各教科で必要な教材・教具について検討する時間を設け、一括して購入の手続きをとる。</li> </ul>
20	<p>学校は、危険箇所などへの配慮を行い、安全対策を十分にとっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアル等を再度確認したり、危険を未然に防ぐリスクマネジメントとして、校内で起こりうる危険（リスク）を予測して未然に防いだり、被害を最小限に抑えるために、環境整備等を整えたりするなど、担当分掌部が連携協力し、事故防止に努める。</li> </ul>

24	<p>学校の情報は、地域の方や関係機関、関係諸学校（小中学校及び進学先等）に向けて発信されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター研修会など外部の研修会で必要に応じて学校案内パンフレットを配付する。</li> <li>・職員研修の内容や様子をHPや学校だよりで保護者に知らせるようにする。</li> </ul>
27	<p>寄宿舎は、舎生の自発的、自主的な活動を促す指導を実践している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舎生会活動を充実させて、生徒の活動意欲や自己有用感を高めるとともに、効果的に助言を行い生徒が自ら自主的・自発的に活動する姿勢を育む。</li> </ul>
30	<p>寄宿舎は、学校、保護者との情報交換を図り、適切な対応に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話連絡や寄宿舎だより、連絡帳などを活用して、舎生の様子を丁寧に報告し、学校・保護者との意見や情報を得やすくする関係づくりに努める。</li> </ul>